

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	障がい児・者の自立支援に向けたパイロット事業
事業主体 (連絡先)	一般社団法人 上伊那歯科医師会 伊那市西町 4922-2
事業区分	(2) 保健、医療、福祉の充実に係る事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,338,138 円 (うち支援金: 998,000 円)

事業内容

- ・上伊那圏域特別支援教育連携協議会との^{情報交換}連絡協議し、障がい児・者に対する地域での口腔領域からの健康支援を検討した。
- ・長野県伊那養護学校 本校 4・5・6 年生、長野県伊那養護学校はなももの里分教室 小・中学部生に対し歯科医師、歯科衛生士による個別対応を通して障がい児・者に対応できる一次医療機関の整備拡大を計った。
- ・伊那養護学校 (本校・分教室)、障がい児保護者に対する研修会を行った。
- ・一般、医療・福祉関係、教育、行政関係者に対しての公開講座を主催した。



【公開講座】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 上伊那圏域特別支援教育連携協議会との協議会を通して、障がい児・者に対する相談窓口を上伊那口腔保健センターに設置することができた。これにより、療育上での問題点を抱える保護者と専門職とのパイプができた。また、地域の専門多職種により構成される口腔機能支援連携協議会(仮称)の立ち上げを行うことができた。
- ② 学校での個別対応を通じて、一般開業医での障がい児・者に対する受け入れの下地を形成することができた。
- ③ 教育関係者、障がい児の保護者に対し、専門職による疾病予防、口腔機能に関する研修会を行い、歯科口腔領域からできる健康支援について認識の共有が図れた。また、公開講座により、障がい者が住みやすい地域が一般住民にとっても住みやすい地域であること、安心な医療体制の整備が地域活性の基礎であることの認識なども共有が図れた

【目標・ねらい】

- ① 専門職対応の相談窓口の設置
- ② 障がい児・者を受け入れる、一次歯科医療機関の拡大
- ③ 障がい児・者に対して地域で診る歯科医療の認識を高める

※自己評価【 B 】

【理由】
それぞれの目標においては当初の目的を果たすことができた。しかし、障がい児者に対する地域の歯科医療体制の整備など地域活性に寄与する様々な課題も提議された。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

地域における一次医療機関と二次医療機関および高次医療機関との有機的な歯科医療体制を構築し、多職種の連携による障がい児・者に対する健康支援のモデルを県下に先駆けて構築していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある